

ル・コルビュジエ 日本における近代建築運動のひろがり

2017年11月9日(木) 13:00~17:00
 国立西洋美術館 講堂 参加無料(先着90名)

主催：国立西洋美術館 同時通訳(日本語/英語)つき

当日 11:00 より館内インフォメーションにて
 お一人様一枚聴講券を配布します。
 会場へは開演の30分前からご入場いただけます。(整理番号順)
 開催中の「北斎とジャポニスム」展や常設展をご覧になる場合は
 別途、観覧券(有料)が必要です。

第40回世界遺産委員会において「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献」の構成資産である国立西洋美術館は、ル・コルビュジエが提唱した「近代建築の5つの要点」を具体的に表現していること、「無限成長美術館」の思想を体現していることに加え、日本における近代建築運動に大きく貢献したことが評価されました。本シンポジウムではル・コルビュジエ、近代建築史の研究者による講演、パネルディスカッションを通じてル・コルビュジエの魅力や日本の近代建築に与えた影響についてご紹介します。

「無限成長美術館」は「無限発展美術館」、「近代建築の5つの要点」は「近代建築の五原則」と訳されることもあります。

「The Legacy of Le Corbusier」 記念講演 13:15

アントワーン・ピコン氏

ル・コルビュジエ財団会長、ハーバード大学大学院デザイン学部教授。建築家、建築史家。近著に『Digital Culture in Architecture: An Introduction for the Design Professions』、『Ornament: The Politics of Architecture and Subjectivity』、『Smart Cities: A Spatialized Intelligence』等がある。



休憩 14:50

パネルディスカッション 15:10

富永讓氏 × 松隈洋氏 × 山名善之氏

富永讓氏

建築家、富永讓+フォルムシステム設計研究所主宰、法政大学名誉教授。作品に〈八幡厚生病院本館棟〉(BCS賞)〈ひらたタウンセンター〉(日本建築学会賞) 著書に『富永讓・建築の構成から風景の生成へ』、『吉田五十八自邸/吉田五十八』、『ル・コルビュジエ建築の詩』、『近代建築の空間再読』、『ル・コルビュジエ—幾何学と人間の尺度』等がある。



プログラム

13:00 開会挨拶

14:05 基調講演「ル・コルビュジエと日本」

松隈 洋氏

京都工芸繊維大学教授。前川國男建築設計事務所を経て2000年京都工芸繊維大学助教授。2008年同教授。専門は近代建築史、建築設計論。DOCOMOMO Japan代表。主な著書に『建築の深夜 前川國男論』、『ル・コルビュジエから遠く離れて』など。



山名 善之氏

東京理科大学教授。2008年より国立西洋美術館客員研究員として世界遺産推薦に関わる。専門は設計意匠、近現代建築。ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展特別審査員賞受賞。DOCOMOMO Japan副代表。主な著書に『マルセイユのユニテ・ダビタシオン』など。



司会 西 和彦氏

東京文化財研究所国際情報研究室長。1996年より文化庁にて文化財保護を中心に文化財行政を担当。国際文化財保存修復研究センター(ローマ)プロジェクトマネージャを経て、2011年より2015年まで文化庁記念物課世界文化遺産室で各地の世界遺産推薦や世界遺産委員会に関わる。近著に『世界文化遺産の思想』(2017年、共著)など。

